

平成20年度第3四半期 証券化商品等への投資およびサブプライム関連投資の状況

明治安田生命保険相互会社(執行役社長 松尾 憲治)は、金融安定化フォーラム(FSF)の報告をふまえ、平成20年度第3四半期における証券化商品等への投資およびサブプライム関連投資の状況について、以下のとおり報告します。

なお、表中の項目については以下のように定義しています。

- ・含み損益は、時価から帳簿価額を差し引いたものです。
- ・実現損益は、売却損益、償還損益および減損額の合計です(利息及び配当金等収入は含めていません)。

1. 投資状況

(1) 特別目的事業体(SPEs)一般

平成20年度第3四半期末における保有、平成20年度第3四半期累計期間における実現損益はありません。

(2) 債務担保証券(CDO)

平成20年度第3四半期末における保有、平成20年度第3四半期累計期間における実現損益はありません。

(3) その他のサブプライム・Alt-Aエクスポージャー

平成20年度第3四半期末における保有、平成20年度第3四半期累計期間における実現損益はありません。

(4) 商業用不動産担保証券(CMBS)

(単位:億円)

	平成20年度第3四半期末時価		含み損益		平成20年度 第3四半期累計期間 実現損益
		平成19年度末比		平成19年度末比	
商業用不動産担保証券(CMBS)(注)	84	△219	△0	△0	—
日本	84	△219	△0	△0	—

(注)裏付けとなる不動産の用途別内訳は、オフィス用不動産76.5%、商業用施設23.5%(いずれも帳簿価額ベース)です。

(5) レバレッジド・ファイナンス

平成20年度第3四半期末における保有、平成20年度第3四半期累計期間における実現損益はありません。

(6) その他の証券化商品等

(単位:億円)

	平成20年度第3四半期末時価		含み損益		平成20年度 第3四半期累計期間 実現損益
		平成19年度末比		平成19年度末比	
①RMBS	7,646	3,643	67	49	△87
日本	3,811	921	78	10	—
米国(注)	3,835	2,721	△11	38	△87
②ヘッジファンド	611	△460	△279	△82	△60
③クレジットリンク債・ローン	704	△71	6	△10	△14
④その他(その他の仕組債等を含む)	1,298	△229	△56	△57	△25

(注)米国RMBSのうち、GSE(米国政府支援機関・・・ファニーメイ、フレディマック)保証のRMBSの時価は374億円です。

2. 証券化商品等全体の内訳

平成20年度第3四半期累計期間における、サブプライムローン関連商品での損失はありません。また、平成20年度第3四半期末におけるサブプライムローン関連商品への直接投資はありません。

証券化商品等全体への投資状況は以下のとおりです。

(単位:億円)

	平成20年度第3四半期末時価		含み損益(注)		平成20年度 第3四半期累計期間 実現損益
		平成19年度末比		平成19年度末比	
証券化商品等全体	10,346	2,652	△261	△101	△187
CMBS	84	△219	△0	△0	—
RMBS	7,646	3,643	67	49	△87
ヘッジファンド	611	△460	△279	△82	△60
クレジットリンク債・ローン	704	△71	6	△10	△14
その他(その他の仕組債等を含む)	1,298	△229	△56	△57	△25

(注)うち為替要因に関する含み損は△380億円です。

3. その他

平成20年度第3四半期末における、明治安田生命単体でのサブプライムローン関連商品への直接投資はありませんが、海外の連結子会社(生命保険会社)1社において、サブプライムローンを裏付資産とした資産担保証券への投資があります。平成20年度第3四半期末投資残高の時価、含み損益は1億円未満、平成20年度第3四半期累計期間における実現損益はありません。

【用語について】

CMBS	商業用不動産担保ローンを裏付資産とする資産担保証券
RMBS	住宅ローンを裏付資産とする資産担保証券
クレジットリンク債	債券に別の信用リスクを結びつけた証券
クレジットリンクローン	ローンに別の信用リスクを結びつけた証券化商品